

みよみよ通信

VOL.43
2022.10

金沢市議会報告



金沢市議会議員 広田みよ

現在3期目 元看護師・保健師

十一屋小・野田中・泉丘高・埼玉県立大学卒業・城北病院8年勤務



← 日頃の活動はこちらから「みよみよ日記」

医療費増、児童手当削減

社会保障予算の 充実が必要

10月に値上げを予定している商品が年内最大の
およそ6300品目あり、くらしは大変なのに・・・

社会保障制度の改悪による負担増！

○75歳以上の医療費1割→2割

全国370万人 金沢市 13900人

○児童手当の特例給付（5000円/月）廃止

全国61万人 金沢市 2900人

○大中規模病院での紹介状ない患者の
追加負担金アップ

初診時 5千円以上→7千円以上

子ども医療費助成
18歳までに！の署名
取り組んでいます。



令和4年9月30日まで		令和4年10月1日から	
区分	医療費負担割合	区分	医療費負担割合
現役並み所得者	3割	現役並み所得者	3割
一般所得者等	1割	一定以上所得のある方	2割
		一般所得者等	1割

被保険者全体の約20%

厚生労働省資料より

コロナ感染について

9/26から、石川県では全数届け出をやめました。

○現在公表されている数は、

重症リスク4分類の方を含む受診された方+ご自身で「陽性者登録」をした方。

○医療機関でのハーススへの入力負担は減るが、経過観察も限定的になるうえ、感染の全体状況がつかめなくなる。

○抗原検査などで陽性となっても、受診・登録もしていない方、ひどくても支援が受けられていない方もいるかもしれない。全感染者へのフォローアップが課題。→陽性登録・療養支援を受けましょう。→

石川県ホームページの要請登録などに関するページ↓



金沢市と統一教会

○村山市長との関係はないが、山野前市長は関連イベントの表敬訪問受け入れ＆「世界日報」インタビューあり。

○公園等里親事業で、金沢家庭教会と協定→地域住民から見直しの声があがっている。

○関係団体が雪かきボランティア登録している。

9月議会で「関係をもたないよう」求めると・・

村山市長答弁

「個人的には、統一協会が好ましいかということ好ましいと思っていない。市としては、現在報道等で社会的に問題が指摘されている団体だと認識。国の動向を踏まえながら対応したい」→はっきりせず。



金沢市議会と統一協会

○関連団体・イベントに、自民党の石川県議・金沢市議が複数関わっている。

わが党は、高岩議長に「金沢市議会議員の自己調査と公表」を求めるも、「時期尚早」として実施しようとしない。

○一方、富山市議会は「旧統一教会と関係断ち切る」決議。今後は会派ごとに（１）旧統一教会や関係団体との関係の有無（２）関係があった場合はその内容（３）政務調査活動や政策立案の判断に影響が及んでいないか、の調査をし、議会として公表する。

金沢市議会でも引き続き求めていく必要あり。

高岩議長に調査の申し入れを行いました。



加齢性難聴に対する補聴器購入補助について 9月議会でとりあげました！

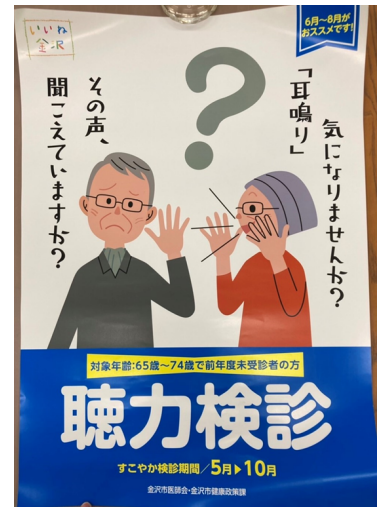
調査の中でわかったこと

① せっかくの聴力検診の受診が少ない

○金沢市は、高齢者（65-74歳）の聴力検診を行っている珍しい自治体である。（0.4%）

○しかし、受診率は3%前後と低い。

⇒受診率向上対策を求めたが、ぜひみなさんも積極的に受けて難聴の実態をあきらかにしていきましょう。



② 補聴器の装用が進まない

○聴力検診のあとも医師がフォローをしているが、補聴器の装用が進まない。

年度	聴力検診で補聴器の装用 が必要とされた方	そのうち補聴器を 装用した方	割合
2019年度	65名	7名	10.8%
2021年度	90名	11名	12.2%

③ 市側のまとめ

○補聴器をつければ生活の質があがるのは確実だが、補聴器購入までのハードルがかなり高い。

○理由としては、購入価格の問題もある。

現状

○70デシベル以上の高度難聴者は障がい者として補助があるが、40以下・40～70デシベルの軽度・中度難聴者に対する補助はない。

※18歳未満にはある。

○今年7月末時点で、105の自治体请加齢性難聴に対し、独自の公費補助制度を実施している。

調査結果や現状を根拠に、 加齢性難聴に対する公費補助制度の創設を求めました！

広田

「成人や高齢者についても、命や生活をまもり、介護や認知症予防のためにも、助成制度が必要。本市独自で加齢性難聴に対する補聴器購入の公費補助制度を創設すべきではないか？」



← 質問全文はこちらから

村山市長

「拡充することは考えてない。なお現在、高度難聴者を対象としている補装具費の給付について、軽度・中等度の難聴者にも対応するように全国市長会を通じて国に対して要望を行っているところだ。」

⇒ **つまり、購入補助の必要性は認めている！**

広田（再質問）

「直近の聴力検診で、補聴器が必要な方の12.2%しかつけていない。不自由な生活を強いられ、災害時の逃げ遅れも心配。市長はランチタイムコンサートを定例化するが、そのハーモニーも聞こえない。ぜひ、ご検討をお願いしたい」

村山市長

「生活の質の確保あるいは認知症への影響なども考慮すると、何とか考えなければならない。様々な方の生活の質を向上していくのは私の責務のひとつなので、それに向けてどのようなことができるか研究していくべき課題だ。」

⇒ **「研究する」に！**

引き続き取り組みます！

地域公共交通について

○現在の計画は「第2次金沢交通戦略」
⇒来年度からの「第3次金沢交通戦略」を
現在作っている。

○金沢港から有松までの「新しい交通システム」は、LRT/BRTの議論の前に「バスの利便性向上」から行うことに。

○中心部や観光の議論が中心となっているが、居住・郊外地域での公共交通の充実が必要。ふらっとバスのようなコミュニティ交通を求める声も各地である。

12月から意見交換会やパブリックコメントもあるのでぜひご参加を！

意見書の提案・
反対理由は
こちらから。→

9月議会 賛否が分かれた一覧

議案番号	件名	本会議の結果	自由民主党金沢市議員会														みらい金沢	公明党	金沢保守	市議会自民党	日本共産党	創生	多												
			橋本	荒木	上田	中川	坂本	高多	前	高岩	久保	宮崎	松村	野本	横越	高村	田中	喜成	麦田	山本	上原	稲端	源野	秋島	栗森	新谷	澤飯	清水	黒沢	大桑	広田	森尾	玉野	北	
		光生		博文	雅大	俊一	泰広	誠一	誠一	勝人	洋子	雅人	理治	正人	太郎	徹	佳伸	美絵子	清恵	徹	由起子	雄二	慶子	明浩	和清	太	博範	英樹	邦彦	和規	初枝	美代	嘉昭	盛夫	幸枝

◇ 市長提出（議案15件中1件）

[illegible]

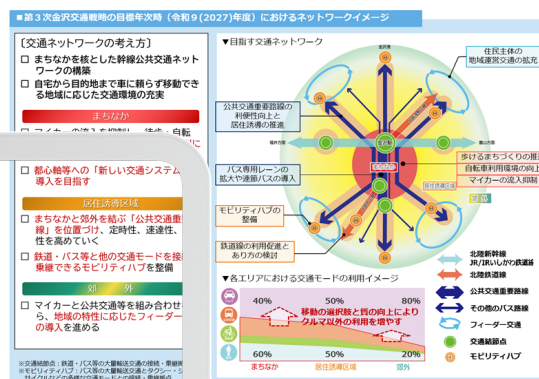
◇ 議員提出 (議案8件中4件)

[illegible]

◇ 陳情 (1 件)

[illegible]

金沢市議会議員 広田みよ
お困りごとのご相談はこちらへ
金沢市広坂1-1-1 7階 共産党市議団
TEL:076(220)2407
mail: movieemovie@yahoo.co.jp



地域交通計画
については
こちら



地域交通に
 ついての議会
 質問はこちら

